

バスケットボール

(1) 本時の目標

ゴール前でパスを受けるための動きについて考え、他者に伝えることができる。

(2) 本時の展開(6/10)

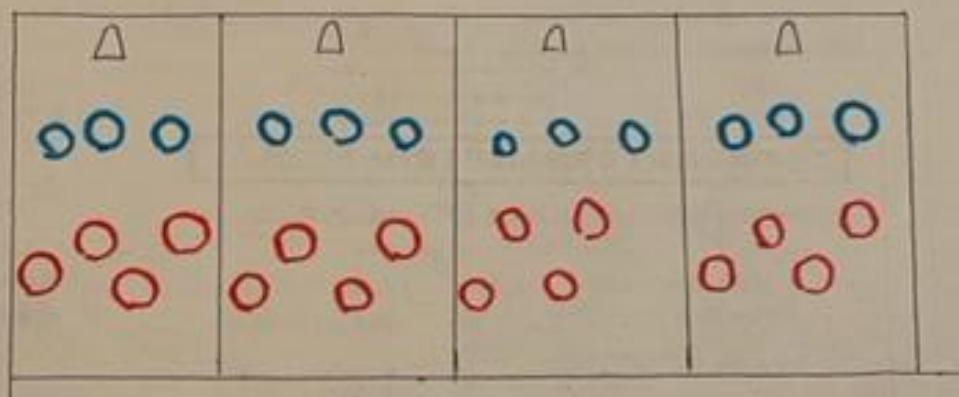
累計時間	○児童・生徒の学習活動	・教師のかかわり
0	○アルティメット缶蹴り（20秒プレー→10秒交代→20秒プレー→10秒交代）4セット	・ 事前に場を設定しておく。 ・ 楽しく遊びの感覚で行えるよう促す。
5	・ 攻撃側4人守備側3で行う。 ・ 攻撃側はコーンにタッチすると勝ち。 ・ 守備側はそれを防いで攻撃側をタッチする。 ・ 1ゲーム20秒で展開し、繰り返し行う。	
	○前時までの振り返り(4分)	
	ゴール前だとシュートを打ちやすい。 ゴール前でのシュートにつながらなかった・打てなかった。	・ 前時の躰きから考えたことを自由に発言させる。
	□シュートを打てた人と打てなかった人ではどんな違いがあるだろう？	
10	ゴール前でたくさんボールを触っていたんじゃないかな。 マークされていなかったからじゃないかな。 ゴール前でパスをもらえたからじゃないかな。 ゴール前でパスを受けるための動き方について考えよう！	
	○オフサイドゾーンゲーム（24秒プレー→20秒交代）10セット	・ T2とともに実演しながら説明する。 ・ 動画の取る位置を指定し、安全に配慮する。
25	・ 攻撃側4人守備側3人のハーフコートで、パスのみで行う。 ・ オフサイドゾーンを設置し、そこでパスをもらおうと1点という形で得点を競う。 ・ オフサイドゾーンには攻撃側が2秒しか入れず、守備側は一切入れない。 ・ 1ターン24秒以内で行い、1度攻撃が終わったら都度攻守を入れ替える。 ・ 全体の動きがわかるように2か所から動画を撮影する。 ・ 合計得点×得点した人数で競う。	・ うまく動けている生徒に対してほめる。
30	□得点をとることができた人はどのような動きをしていたらう？	
40	○グループ・全体交流、ワークシート記入（グループ5分→全体4分）	
45	ボールを持っていない時にタイミングよく中に入っている。 守備がいないタイミングでオフサイドゾーンに走り込んでいる。	努力を要する生徒への手立て ・話し合いに参加できない生徒には得点できている生徒とできていない生徒の違いに着目して考えるよう支援する。 ・仲間の意見を聞き、そこに着目して考えるよう促す。
	○オフサイドゾーンゲーム（24秒プレー→20秒交代）6セット	
50	○グループ・全体交流（5分）	
	全員が得点することができた。 ゴール前でパスを受ける意識を持てた。 相手のいない状態でゴール前に走り込むことで、ゴール前でパスを受けることができる！	
	○次時の説明、整理運動(3分)	・ けが人の有無の確認をする。

(3) 本時の評価

ゴール前でパスを受けるための動きについて考え、他者に伝えることができる。（思考・判断・表現）

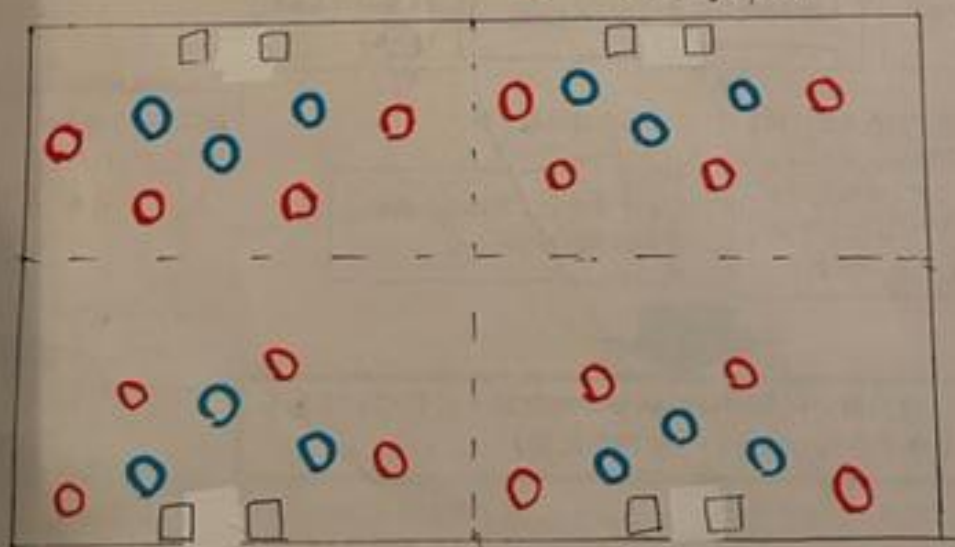
○アルティメットセブリング

●... 守備側
●... 攻撃側



○オフサイドゾーンゲーム

□... オフサイドゾーン
●... 守備側
●... 攻撃側





バスケットボール

年 組 名前

オフサイドゾーンゲームを振り返って...

○得点できた人はどんな動きをしていただろう？

(例えば...タイミング、場所、ゾーンへの入り方、場面など)

【個人・グループの考え】

【ほかの人の考え】

